

2008 年 3 月号 No.017

2008 年 2 月 27 日発行

月刊 かわごえ環境ネット



目次

(仮称)川越市森林公園計画地「冬芽と野鳥観察会」報告…2	
団体会員訪問 (7)「ムサシ航空連盟 (MKR)」 ……………3	
「まち美化」で総合学習のお手伝い ……………4	
「まちなか発表会」で学生がまちづくり提案 ……………4	
川越市環境行政の動き ……………5	
理事会・専門委員会からの報告 …………… 5-7	
おしらせ …………… 7-10	

川越の自然探しに参加してみませんか！



本会が主催または共催する自然観察会や勉強会を次の 2 か所で定期的に行っています。会員はもとより子どもを含む市民のみなさまに呼びかけ、自然のすばらしさや自然の大切さを体感していただくことがねらいです。

① (仮称)川越市森林公園計画地は、350 年の昔から続く雑木林で、面積は 50ha を有し、オオタカが営巣できる広さです。2 年前に、地権者のご理解を

得て遊歩道が設けられました。雑木林の四季は魅力的に変化します。春は、森全体が黄緑や紫褐色に輝き、ピンクのウグイスカグラの花、ネジキやエゴノキの白い花で賑わいます。一方、林床には、ヒメヤブランやコナズビなどの草花が白や黄色の彩りを添えます。夏は、木々の葉は濃緑となり落ち着いた雰囲気になり、秋には赤い実がこぼれ、冬は樹木(落葉樹)が裸になり、林内が透けて見え、明るくなります。この雑木林は、農業文化が育んだ川越の貴重な自然遺産と言えます。

② 仙波河岸史跡公園は昔の船着き場跡です。水草や古木もあり往時が偲ばれて、興味深いところです。ハンノキやエノキが多いのは河畔林の名残で、昔、川沿いにはこのような林が広がっていたはず。イボタノキもあり川岸に多い低木です。今では少ないツルマサキやイヌザクラもあり、林の名残ではないかと思えます。池の浅瀬には、絶滅危惧種のタコノアシがあり、ミクリも生えています。ミクリは湧き水を好み、清流の浅瀬に繁茂する植物です。今でもこの水草が見られるのは、あちこちで湧水が豊かであったころ、この場所にもムサシトミヨが棲息をしていたことの証しではないでしょうか。高木を見上げると思わぬ野鳥が見られます。ムクノキ(秋熟)、エノキ(秋熟)、つる性のキズタ(春熟)などの実は野鳥の好物です。双眼鏡があれば便利です。

かわごえ環境ネット 理事 稗島英憲

(仮称) 川越市森林公園計画地「冬芽と野鳥観察会」報告 自然環境部会



コナラとヤマコウバシの冬芽



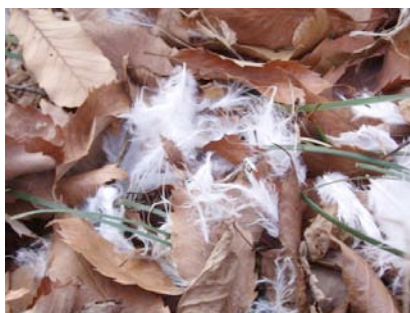
冬芽あてクイズ



サワフタギの冬芽を見る



樹木カード



オオタカの食痕



ダイサギを食べるオオタカ
(幸手市にて青柳進さん撮影
埼玉県生態系保護協会「ナチュラルアイ」No.251, 2008年2月号掲載)

日時：2008年1月27日(日) 9:30-13:00

参加者：一般・ネット会員 計25名

講師：稗島英憲 (財)埼玉県生態系保護協会
会員

共催：かわごえ環境ネット自然環境部会、埼
玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

温暖化といわれながらも、強い寒波が例年より多くおしよせ、1月23日には初雪がありました。当日27日はよく晴れて風もありませんでしたが、気温が7℃くらいまでしか上がらず、寒い1日でした。

集合場所のジョイフルには冬場、カララヒワが高い梢に集まります。この日も早速スコープで見ることができました。雑木林に入っていくと、すっかり葉を落とした樹木の間からまぶしいほどの光が射し込み、春を待つ冬芽がよくわかります。冬芽はとても小さいので今年も樹木カードを活用し、実物と照合してもらいました。

「樹木に関心のない間はどれも同じに見える

でしょう。でもよく観察していくとそれぞれみな、特徴をもっています。人の顔がみな違うように、植物はそれぞれメッセージを発しています。冬芽もしかりです。花も葉もなくなってただ枯木のようになった木でも、冬芽はそれぞれ違うのです。」

稗島さんの丁寧なガイドで参加者の方々もルーペ片手に熱心に観察していました。最後に5種の冬芽をあてるミニクイズをしました。帰り道はオオタカの食痕のある場所を通りました。真っ白い羽でフワフワしていて、ニワトリともハトとも違うようです。参加者の中の方がコサギではないかと、ヒントをくれました。そういえば「ナチュラルアイ」2月号にオオタカがダイサギを捕らえた写真がありましたので、福原の雑木林でもそのようなことがあったのかも知れません。他にエナガ、キセキレイなどが見られました。このような自然が残っている当地はとて貴重なフィールドであると改めて感じました。(賀登環)

ムサシ航空連盟 (MKR)**団体会員訪問 地域環境活動を聴く (7)**

八瀬大橋の下流 200m の河川敷のところに、芝生がきれいに手入れされた模型飛行機の滑走路がある。私のウォーキングコースのひとつになっており、入間川の土手にある自転車専用道路からよく見ることができる。2年前の本会総会後に開催された懇親会で知り合った、ムサシ航空連盟代表の増田純一さんに団体会員訪問の取材を申し込み、活動拠点である河川敷にある飛行場で宇佐美裕彰会長と会い、同連盟の環境活動の取材を行いました。2日前に雪が降り、白一面の雪の飛行場と思っていましたが、濁いた芝生の飛行場で、景観良き冬の河川敷にて取材ができました。



快晴の空に模型飛行機が、心地よいエンジン音を出し空に舞っている。模型飛行機も性能が向上し、滑走から飛び立ち旋回、急上昇、ひねり滑空とエンジン音も軽やかに飛びまわっている。空を見上げながら、ムサシ航空連盟の概要をお聞きしました。設立は、昭和30年の頃、今ほどの模型飛行機が普及していない時で、滑走路も短くて15mくらいから始まって、飛行機好きないくつかのグループが会を作り楽しんでいた。

八瀬大橋も出来ておらず、河川敷は不法投棄の山があちらこちらに出来ていた。飛行機を飛ばすのを楽しむばかりでなく、飛行環境を整備するには、各グループが連盟として活動を行うことがよいのではと、ムサシ航空連盟を結成し会の規約も作った。会員の中に建設重機を持っ

ている方もおり、河川を管理している県の事務所に伺いを出し、重機を使っての不法投棄一掃の活動を行った。水の流れ際には背丈ほどの葎が生え、不時着した飛行機を取りに行くと、上流から流れ着いた家庭ゴミから異臭も出ていた。これらも、何度かの清掃活動により取り除かれ、河川の環境も良くなり、また、見通しが良くなったことで不法投棄も減少してきた。

見せていただいた規約には、模型飛行機の知識と認識を高め、青少年の健全なる育成等を目的とする親睦団体とあり、河川敷付近の清掃の勤労奉仕を行い、美化運動に協力することなどの事業目的も書かれている。会員は、現在80名。年2回の川越市のごみゼロ運動にも多くの会員が参加し、河川敷のごみ清掃を続けている。

ごみゼロ運動の5月、10月近くになると、不法投棄が多くなる。そして、人の移動が多くなる3月末も土手際に不法投棄が見られることから、この時期に清掃活動を実施している。

2002(平成14)年12月には、川越市から感謝状が贈られたとのこと。子どもたちの夢を広げ健全育成につながる活動として、「子ども模型飛行機教室」を公民館と共催し、現在までに5回開催している。記録写真を見ると、父親と大空を見上げている参加者が多く見られ、よき絆づくりにもなっていると感じました。また、安比奈親水公園で開催される夏の花火大会では、絶好の見物場所となり、手入れされた芝生の上で大勢の方が花火観賞をしています。

自分たちの楽しみに加えて環境整備の社会奉仕活動を続けているムサシ航空連盟、冬晴れの天候の下その模型飛行場において行われた取材は、その景観の良さに加え、そこに吹くさわやかな風が心を温めてくれたものでした。

(2008年2月取材訪問 広報委員：金子晃)

【ムサシ航空連盟 (MKR) ホームページ】

<http://www.geocities.jp/jmasudas/mkr/mkrright.htm>

「まち美化」で総合学習のお手伝い

団体会員の活動報告

中央小学校の6年生から、総合学習の一環として「まちなかのポイ捨てごみと対策について話してほしい」との依頼が、川越市資源循環推進課を通して「クリーン&ハートフル川越」にありました。当会としては、少しでも小学生のまち美化意識の向上に役立てればとの思いもあり、積極的にこの依頼を引き受けることにしました。

2月4日11時からの授業でした。初め10人ぐらいの予定だったのが、教室いっぱいの45人が迎えてくれ、関心の高さに感激しました。

当日は、武田に酒井、岸野の3人が、本川越駅から学校までで拾ったごみを持ち、いつもの「止めましょう、歩きたばこ・ポイ捨て・放置自転車」の啓発ゼッケンを着けてトングを持ったスタイルで教室に入りました。毎月の活動状

況を話したあと、活動の趣旨と散乱ごみの種類や量など、市内でのごみ拾いの姿を映したビデオを流して説明しました。子供らにも実態がよく分かったようです。画面いっぱいに拡げられた雑多なポイ捨てごみの姿、特にたばこの吸い殻が圧倒的に多い状況を理解しました。

「あなたのお父さんやお兄さんに、歩きたばこや吸い殻をポイ捨てしないように言ってください」と頼んで締めくくりました。

後日、生徒の代表から「良い発表ができます」とのお礼の作文をいただきました。交通ルールを守り、ポイ捨てもしないよい子供から大人のマナー違反をやめてもらう「一声運動」をやれば、川越のまち美化に向け、より効果が上がるのではないのでしょうか。

(クリーン&ハートフル川越：武田侃蔵)

「まちなか発表会」で学生がまちづくり提案

団体会員の活動報告



まちなか発表会の様子



まちづくり提案の例

1月22日午後、川越プリンスホテルにて図形処理演習「まちなか発表会」を開催しました。このイベントは、東洋大学が今年度文部科学省から採択された現代GP（現代的教育ニーズ取組支援プログラム）「持続型共生教育プログラム：川越学」の一環として行ったもので、正課の授業で行っている演習の発表会を、まちなかで公開で行うことによって、地域の方々にその成果を報告しようというものです。

環境建設学科2年生の科目である「図形処理演習」では、川越中心市街地におけるまちあるき調査の調査をもとに、各地区における、アメニティ（総合快適性）の向上に向けたまちづくり提案をまとめてもらいました。

一般の方から厳しい質問やア

ドバイスもあり、学生にとってとても貴重な機会となりました。また、今回の成果は、川越中心市街地におけるアメニティの向上に向けてみんなで取り組むべきことを見つめ直す資料として活用できると考えています。

東洋大学では、今後も地域学を教育の柱に据えて、川越市の関係各位の協力を得ながら、地域の望ましい環境像の実現に寄与したいと考えています。

東洋大学現代GPについて、また、この取組結果についての詳細は、東洋大学現代GPホームページ (<http://gp.eng.toyo.ac.jp>)、成果は、川越アメニティマップ2007 (<http://team-6.eng.toyo.ac.jp/kawagoe-amenitymap2007>) をご覧ください。

(東洋大学：小瀬博之)

川越市環境行政の動き

新清掃センター熱回収施設、基礎工事へ

新清掃センター熱回収施設新築工事は、さる1月29日に、一般の建築確認に相当する計画通知の確認済証を受け、基礎工事や止水壁等の工事が始まります。

2月26日の市議会議員協議会では、新清掃センター建設事業の現在の進捗状況と今後の

事業推進について報告がありました。

平成20年度の予定としては、啓発施設などの残り施設を発注し、2年後の2010（平成22）年3月完成をめざして、工事を進めるとのことです。

（武田侃蔵）

理事会・専門委員会からの報告

理事会

第87回理事会は1月28日に開催されました。主な審議事項は次のとおりです。

・中間会計報告を行い、予算の執行状況を確認し、おおむね予定通り執行されていることを確認しました。また、会費をいただいている方への依頼を再度行い、2月の理事会で状況を改めて確認することにしました。

・来期の理事体制と選出方法の基本方針について検討しました。基本的に、前回の方法を踏襲するとともに、各団体・事業所からの理事の推薦は1名とすることを確認しました。2月の理事会で募集文案を検討します。

・次年度の事業計画策定に向けて、基本方針を検討しました。それに先だって、今年度の事業計画についての自己評価を行いました。

第88回理事会が2月25日に行われ、理事の募集文案及び候補者の選出スケジュール（3月中旬を目途に総会開催通知・年会費通知とともに送付し、立候補を4月11日まで受付）を決定するとともに、総会の日時（5月17日土曜日10:00開会）を決定しました。事業計画についてもより具体的に検討を行いました。詳しくは、3月号にて改めて報告します。

（理事長・広報担当理事：小瀬博之）

社会環境部会

第11回目の社会環境部会の定例会は、2月13日、12名の参加で開きました。

1) 渡辺代表より先月の理事会で、社会環境部会の中間決算が了承されたこと、5月の総会で新理事の立候補があるよう要請があったことなどが報告されました。

2) 24日に開かれる「第6回かわごえ環境フォーラム」の進行や、受付、司会、記録、器機などのスタッフについて説明があり、朝の駐車場係等も指名、聴衆の動員について協力要請がありました。午後の、川越市との共催になる「かわごえアジェンダ21記念講演会」についても、受付、ネットへの入会案内係等を決めました。

3) 来年度の事業計画案について、代表からの

試案が示され、テーマ・実施項目・推進担当などの事項が説明され討議しました。大筋は今年度を踏襲し、3月にもう一度討議して決定します。新年度には、自然部会と協力して「鳥の巣箱づくり」と「巣箱かけ」を新事業として組み入れたいとの提案がありました。

4) まち美化の方から、中央小学校の総合学習で「まちなかのポイ捨てゴミとその対策」について話した内容（別掲）が報告されました。

5) 3月16日（日）の社会環境部会主催の「地球温暖化対策を考える講演会」へのPR要請。

2月23日（土）熊谷市での「ストップ温暖化熱いぞ熊谷」、2月26日のさいたま市での「暮らしのエネルギーセミナーINさいたま」の講演会

の紹介。ごみ減量グループから、3月1日（土）に、川越勤労者福祉センターで、NPOのUネット主催によるセミナーが紹介されました。午前中は「環境にやさしい循環型花のまちづくり

セミナーin川越」、午後は「善循環の輪 埼玉のつどいin川越」で生ごみの堆肥化や河川の浄化などの事例発表があります。

（社会環境部会代表：渡辺利衛）

自然環境部会

1月20日（日）には第3期多自然護岸工事が始まっているかすみ湧水堀で、2回目のホタル実地勉強会が行なわれました。参加者は指導の先生を含めた総勢7名で、シダ類やホタルの産卵床になるミズゴケの植え付け作業と、春から夏にかけて法面土壌の保護や草刈高さについての指導を受けました。

1月27日（日）には（仮称）川越市森林公園計画地において自然観察会が開催されました。詳しくは、記事をご覧ください。

1月30日（水）には、川越市役所東庁舎にて菅間緑地でのムサシトミヨ飼育テストに関する協議が埼玉県、川越市、かわごえ環境ネットの総勢10名の出席で行われました。埼玉県としては、菅間緑地でのムサシトミヨ生息確認がないとの理由で候補地からは外したい意向でした。その背景には、本庄市での飼育テストの状況が念頭にあるようです。私たちとしては、菅間緑地を候補地として進めてきた三者協議が継続していること、菅間緑地はムサシトミヨの生息環境に最適であること、本命候補の龍池弁財天への展開のステップになることを改めて説明して再検討を申し入れました。県としては、持ち帰り検討して回答するということになりました。

2月4日（月）には、さわやか活動館で水辺

の自然の保全と再生グループの定例会が総勢7名の出席で開催されました。主に仙波河岸史跡公園での新活動案とムサシトミヨの保護活動について協議しました。

2月8日（金）には、川越市役所7C会議室にて2月度・自然環境部会が、総勢9名の出席で開催されました。「残された平地林の保全グループ」からは、（仮称）川越市森林公園公園計画地で開催された自然観察会の結果報告と08年度の活動計画（案）が提示され、自然観察会と生物調査、保全活動は案通りで決まりましたが、くぬぎ山自然再生活動テーマは再生協議会が休止状態にあるのでテーマから外すことに決まりました。

「水辺の自然の保全と再生グループ」からは、現在進行している（仮称）かすみ湧水堀と協栄排水路の多自然護岸工事の経過報告とムサシトミヨの三者協議結果報告がありました。仙波河岸史跡公園での新活動計画については、原案に基づいて協議が行われた結果、龍池弁財天も含めた自然観察パトロールと植生調査の具体的日程が決まりました。最後にかわごえ環境フォーラム、アジェンダ21記念講演会の内容説明と役割分担の再確認が行われました。次回は3月14日（金）です。

（自然環境部会代表：大辻晃夫）

企画委員会

第9回委員会は1月28日（月）に開催されました。昨年実施した「里山保全と吾野宿エコツアー」の反省をした後、来年度の活動について話し合いました。

1. 今年度の継続としてイベントを行う。
2. 原点に戻ってネット会員の裾野の広がりを

追及するなにか。

3. 長期のテーマとして全く新しい発想などありました。3. について提案はあったが、かなり大きいテーマでどこから取りかかると問題となります。次回（2月25日）の企画委員会を拡大企画委員会とし、自然、社会環境部会

も加えて来年度テーマについて話合うことにな

りました。

(企画委員長:村上正明)

第6回かわごえ環境フォーラム実行委員会

1月28日(金)に第6回実行委員会を開催し、報告書の編集状況の確認とともに、プログラムとスタッフの役割分担を決定しました。また、ポスターとちらしを作成して、公民館等で配布するとともに、委員が分担して川越市掲示板に掲出することにしました。

フォーラム開催前日の2月23日15:00より、会場設営のために第7回実行委員会を開催しました。

2月24日(日)9:30-12:00に、やまぶき会館

会議室にて第6回かわごえ環境フォーラムが開催され、約100名の来場者で、活発な環境活動報告会が行われました。また、同日午後にはやまぶき会館ホールにて川越市との共催で行った、かわごえアジェンダ21記念講演会には、約300名の方々にお越しいただきました。強風の中、参加いただき誠にありがとうございました。なお、これらの行事については、本誌3月号にて詳しく報告します。

(かわごえ環境フォーラム実行委員:小瀬博之)

お知らせ

「エコライフデー2007」冬のキャンペーン3月5日必着+「環境家計簿」も始めましょう

エコライフデー2007 チェックシート 一般・高校生用

地球温暖化を防ぐことができるのは、あなたです!!

大気中の二酸化炭素の増加によって起る地球の温暖化。便利で豊かな私たちのライフスタイルは、大量のエネルギーや資源を消費することで、二酸化炭素をつくり出しています。生活の中でちょっとした省エネや省資源が、二酸化炭素の削減につながります。

さあ、あなたも今日1日、エコライフに挑戦してみませんか。

室温暖房20℃以下

省エネ性能に注目しよう。省エネ性能を分かりやすく示す「省エネラベル」が、16品目について定められています。星の数が多いほど、また、省エネ基準達成率の数値が大きいほど省エネ性能に優れています。

できるだけ省エネ性能の高い製品を選ぶことで、毎日の二酸化炭素排出量を削減できます。

エアコンの例では、11年前のエアコンと比べ、最新のトップランナー機種を選ぶと約40%も省エネです。同じ冷暖房能力なのに1年間で約200kgの二酸化炭素を削減、もちろん電気代もお得です。

省エネ家電 100% 4500円
省エネ家電 100% 5080円

エコライフDAYへの参加の仕方

- 1 裏面のチェック項目を見て、1日、省エネ、省資源など環境のことを考えてみましょう。
- 2 チェック項目のうち、できたことについて、右の欄の数字を丸で囲みましょう。
- 3 丸で囲んだ数字の個数と合計を下の□の中に書き入れましょう。
- 4 □の中に書き入れた数字が、今日1日、減らすことができた二酸化炭素の量です。
- 5 今日1日、エコライフDAYに参加してどう感じましたか。感想や、あなたのエコライフの工夫などを書きください。
- 6 記入した用紙は必録から切り取って、あなたの所属する団体・事務所や学校、市町村役場(環境課など)にお渡しください。
- 7 エコライフDAYはホームページからも参加できます。
URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/ecolife/ecolifeDAY.html>

エコライフDAYに取り組んでの感想、我が家の工夫、ご意見などをお書きください(チェック項目は裏面です)

埼玉県・埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/実施団体

えて暮らしの結果をチェックして、かわごえ環境ネット事務局まで郵送またはFaxでチェックシートをお送りください。なお、本会としての締切は2月末日ですが、遅くとも3月5日(水)必着でお送りください。よろしくお祈いします。

チェックシートを無くしてしまった、他の会員や知人の分を手に入れたいという方は、埼玉県ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/ecolife/ecolifeDAY.html>) でチェックシートが入手できます。実践して、ぜひ本会事務局まで結果をお送りください。

<送付先>かわごえ環境ネット事務局
350-8601 川越市元町 1-3-1 川越市役所環境政策課環境推進担当 Fax.049-225-9800

なお、本会では、電気やガスの毎月の使用量から、環境に配慮したくらしを見つめる「環境家計簿」を作成し、普及に努めています。会員には、1月号の同封資料として配布しています。請求書などから、電気・ガス・水道・灯油・ガソリン等の使用量を毎月記録して、家庭からの二酸化炭素排出量をチェックしましょう。

1月30日付で本会会員にお送りした資料の中に、オレンジ色の「エコライフデー2007 チェックシート」が同封されています。もう取り組みましたか。まだ取り組んでいない方は、冬の日、省エネルギー、省資源など環境のことを考

3月16日(日)地球温暖化対策講演会を開催(再掲)

猛暑、大型台風、集中豪雨などの異常気象が頻発しています。その原因は、地球温暖化と関係があるともいわれています。住みよい環境を未来の子どもたちに残すため、私たちは何をすればよいのでしょうか。今回の講演会では、「地球温暖化対策を考える～自然エネルギーとマイクロ水力発電～」というテーマで講演していただきます。地域の地球温暖化防止の対策についてみんなで考えてみませんか？

日時：3月16日(日) 13:30-15:30
場所：川越市立博物館視聴覚ホール
(川越市郭町 2-30-1)
講師：稲垣守人 氏
(東京発電株式会社 水力事業部 部長)
定員 80名、入場無料
問い合わせは、かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当)まで。

3月以降の理事会・専門委員会及びイベントの開催予定

●会員全員が対象、◆の理事会・委員会は、特に記載がない限り委員が対象、★は会員内外を対象にした公開イベントです。イベントの詳細は個別の記事を参照ください。

★(仮称)川越市森林公園計画地 植物調査

日時：3月5日(水) 9:30-12:30
集合場所：川越南文化会館(ジョイフル)
(川越市今福 1295-2)
内容：樹木調査と保全活動
問い合わせ：賀登(Tel.049-234-9366)

毎月定期的に調査を行っています。どなたでも参加できます。事前連絡はいりません。

●社会環境部会(2008年3月度)

日時：3月12日(水) 15:00-17:00
場所：川越市役所修養室
(川越市元町 1-3-1)

原則として毎月第2水曜日 15:00-17:00に定例会を開催しています。次々回は4月9日です。

●自然環境部会(2008年3月度)

日時：3月14日(金) 15:00-17:00
場所：川越市役所7B会議室

原則として毎月第2金曜日 15:00-17:00に定例

会を開催しています。次々回は4月11日です。

★地球温暖化対策講演会

「地球温暖化対策を考える～自然エネルギーとマイクロ水力発電～」

日時：3月16日(日) 13:30-15:30
場所：川越市立博物館視聴覚ホール
(川越市郭町 2-30-1)

◆広報委員会(2008年3月度)

日時：3月18日(火) 9:30-10:30
場所：川越市役所5階フリースペース

◆理事会(第89回)

日時：3月24日(月) 15:00-17:00
場所：川越市役所7A会議室

●2008(平成20)年度総会

日時：5月17日(土) 10:00開会
場所：川越市立博物館視聴覚ホール
会員には、3月中旬を目途に開催通知をお送りします。

会員・関係団体の主催行事・募集等

●(財)埼玉県生態系保護協会

川越・坂戸・鶴ヶ島支部

☞伊佐沼でバードウォッチング

時間：10:00集合-12:00(小雨決行)

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口
近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300円、高校生以下100円

(保険料・資料代として)

◆3月9日(日)

沼のカモ達、ジョウビタキ、ツグミなどの冬鳥とは今月でお別れです。再会を約束し、渡りを始め北国に向い通過していく鳥達にも会えるでしょう。春もそこまで来ています。動きはじめた木の芽、草の花も観察します。

◆4月13日(日)

桜の花びらが沼に浮かび、カイツブリのラブコールが聞こえます。コチドリもペアで鳴き交わしながら飛んでいます。春爛漫、恋の季節を堪能してください。

以上の問い合わせ先：笠原啓一

Tel.049-222-0957

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

☞森林公園自然観察会

時間：10:20 集合、10:30-15:00

場所：国営武蔵丘陵森林公園 南口集合

参加費：200円、他に入園料が必要

◆3月16日(日)・25日(火)

スミレの花やアマナ等の可憐な野草が咲き始め、ミヤマセセリやビロードツリアブ等の昆虫が活動を始めます。スミレの花を太田先生の解説で楽しみ、また水辺の生き

物を観察します。南口に集合、参加費、入園料、昼食持参のこと。

◆4月11日(金)

西口から新緑の林の中を、野鳥の声やセンボンヤリの花などを楽しみます。西口に集合、参加費、入園料、昼食持参のこと。東武東上線森林公園駅より立正大学行きバス(10:00発)に乗車、公園西口下車。

以上の問い合わせ先：谷津弘子

Tel./Fax.049-224-9118

●クリーン&ハートフル川越

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第2木曜日・第4土曜日の13:30-15:00

◆3月4日(火)・13日(木)・22日(土)

◆4月1日(火)・10日(木)・26日(土)

場所：川越駅東口アトレ横歩道橋下集合。市役所等までまち美化活動。

2. 第3日曜日・9:30-11:00

◆3月16日(日)・4月20日(日)

場所：本川越駅交番横集合。数コースに分かれて中央公民館までまち美化活動。

以上の問い合わせ先：武田侃蔵

Tel.049-222-0786

広報委員会からのお知らせ

●川越ケーブルテレビ「われら環境ネット」

3月は、2月24日に行われた「第6回かわごえ環境フォーラム」と「かわごえアジェンダ21講演会」をまとめたものになります。3月15日(土)から21日(金)までの1週間、「KOED Oちゃんねる」で1日5回(7:40, 11:40, 14:35, 16:10, 22:10)放映されます。

今回で、2007年1月から15回にわたって放映された「われら環境ネット」の企画は終了します。関係団体のご協力に感謝申し上げます。

●会員及び関連団体等の活動報告の投稿や行事・募集に関する情報を随時募集

活動報告は400字程度(書式自由)でお寄せください。写真も掲載可能です。電子データでいただくと助かります。また、本会会員や関連団体等が主催する公開イベントや募集に関する情報掲載も受け付けます。2008年4月号(No.018, 3月26日ごろ発行予定)の掲載原稿締切は、3月14日(金)事務局必着となります。よろしくお願いたします。

●かわごえ環境ネットホームページのご案内

かわごえ環境ネットの最新情報から過去の情報まで、さまざまな情報がかわごえ環境ネットホームページ(<http://kawagoekankyo.net/>)に蓄

積されています。ぜひご活用ください。「月刊 かわごえ環境ネット」もカラーで入手できます。

RSS 配信とケータイ用ページも用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

[RSS] <http://kawagoekankyo.net/atom.xml>

[ケータイ用] <http://i.kawagoekankyo.net/>



●かわごえ環境ネット入会のご案内

3月から入会される方は、3月中の会費が無料になります。ぜひこの機会に入会してください。

本会は、地域ぐるみで川越市の望ましい環境像を実現するためにさまざまな活動をしています。会員になれば、本誌「月刊 かわごえ環境ネ

ット」など、川越市の環境に関する情報を毎月お送りします。また、本誌やホームページにイベント情報や会員の情報を掲載できます。さらに、かわごえ環境ネットが主催するイベントに優先的に参加できます。そして、専門委員会（普及、啓発、ボランティア、広報、行政への提案など）に参加して、川越市の望ましい環境像の実現に向けてさまざまな活動ができます。

入会についての詳細及び問い合わせは、本誌末尾に書いてあるかわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課）まで、または、かわごえ環境ネットホームページをご覧ください。入会案内、及び入会書類は、本会ホームページから入手できます。ぜひアクセスしてください。

編集後記・コラム

●広報委員募集します

月刊かわごえ環境ネットは、現在、5名のスタッフにより編集・作成しています。月刊になってから早くも17号を発行し、精力的に活動していますが、編集も発行もたいへん手がかかる作業で、人手不足で苦勞しています。

会員のみならず、また、これから会員になって広報をお手伝いいただける方（ボランティア）を大募集しています。広報委員会は、毎月中旬ごろに川越市役所5階のフリースペース（エレベータ前）で行っております（3月は18日火曜日9:30-10:30）。また、発行日には印刷と封入作業を行っています（期日は事務局までおたずねください）。まずはお気軽にお立ち寄りください。（こせ）

●「協働」の模範的なモデルになれば

「かわごえアジェンダ21」がハンディな

さわやかな冊子として出来上がりました。この中に示された環境行動計画を、一人でも多くの市民が実践することで「協働」の具体的な実現の形を市民の前に見せることとなります。

市の組織に「協働推進課」を作り、市民活動を助けるために「市民の寄付条例」をまとめた鶴ヶ島市では、市民活動グループで「地域通貨」の研究会が発足して討議の輪を広げていると聞きました。いろいろなやり方が各地で取り上げられている「地域通貨」ですが、まだまだ研究の余地がある制度であります。

仕事をやめて地域に戻った「団塊の世代」を「地域の宝」として元気に活動して貰えるために必要な制度だとの発想で取組んでいます。わがネットの社会環境部会で資料を集めたことがありました。再度研究してみたいものです。

(KT)

月刊 かわごえ環境ネット 2008年3月 No.017

発行日 2008年2月28日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>